事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0115
評価年度 令和 6年度　　進捗区分　評価完了　　所属長名　若林　雄一
所属 1488　こども未来部こども・若者政策課　　記入者　金　永学
事務事業番号 00014　児童館運営事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001　出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	004　児童館運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法				
事業概要	（事業概要） ６児童館が、児童館運営基本方針及び活動基本指針に基づき、より広域的に多くの児童が利用できる魅力ある児童館づくりを積極的に推進し、あわせて地域における子どもの健全育成や子育て機能の充実を図っていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 急速な少子化の進行に伴う少子高齢化や、女性の就業率の上昇、共働き世帯の割合の増加等、子育て家庭を取り巻く環境も大きく変化している。核家族化や地域におけるつながりの希薄化等により、子育てに関する負担や不安、孤独感が高まっている。また、子どもが地域で幅広い年代の人々と関わり、様々な体験をする機会が減少している。さらには、貧困世帯の問題や児童虐待相談件数の増加等、子どもを取り巻く環境は厳しい現状にある。 （見直しや改善等の経過） 児童館における中高生向け活動の実施や備品の設置のほか、児童館の魅力発信プロジェクトを実施し、中高生の居場所づくり、来館促進に注力した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	０歳～１８歳未満の子どもや、子育て中の保護者を対象に
目的（何のために）	地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的として
手段（どのようなやり方で）	長期的・継続的にかかわり、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図り、遊びの拠点と「居場所」場の提供、家庭や地域に対する子育て支援活動を実施し、
成果（どのような状態にするのか）	子育て中の保護者の負担を軽減し、親子がいきいきと生活できたり、小中学生が友だちの中で自分を発揮し、地域やいろいろな世代の方とのつながりを深めたりする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	138,032	179,696	198,805	242,508	193,943	193,943	193,943
事業費	21,380	20,634	30,105	73,808	25,243	25,243	25,243
国庫支出金	3,668	0	0	0	0	0	0
県支出金	14	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	4,700	43,700	0	0	0
その他	64	463	81	81	67	67	67
一般財源	17,634	20,171	25,324	30,027	25,176	25,176	25,176
人件費計	116,652	159,062	168,700	168,700	168,700	168,700	168,700
事務・技術（人）	1.23	1.09	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
技能労務（人）	1.00	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
再任用（人）	3.90	3.30	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
会計年度任用（人）	24.54	24.98	27.54	27.54	27.54	27.54	27.54
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0115
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　00014　児童館運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-50-05-00-01-00	児童館運営費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)未就学児童等活動事業数	回	650.00	560.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		548.00	423.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)小中学生以上活動事業数	回	400.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
		291.00	262.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童館親子ふれあい活動参加者数R6～児童館利用者	人	38,500.00	48,000.00	65,000.00	65,000.00	65,000.00	65,000.00	65,000.00
		11,338.00	59,037.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)親子ふれあい活動について満足度８０%以上の人数割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	直営で、平時より情報共有、意見交換しながら事業実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	参加者の満足度の高さ、参加者数に鑑み、成果は上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	年代別に各児童館の特性を活かした事業を実施しており効率的			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子育て支援、こどもの遊び場、居場所として施策に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	未就学児とその保護者に対しては、地域子育て支援拠点として活動内容の充実を図っていく。小学生以上の学齢期の子どもに対しては、児童館の拠点性、多機能性、地域性等を活かした子どもの居場所としての機能を充実させることで、児童館の利用促進を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	幅広い年齢層の子どもが自由に利用できる児童館の特性を活かし、それぞれ児童館の利用傾向や地域性を踏まえながら、子どもの居場所としての機能の充実を図る。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00014　児童館運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)未就学児童等活動事業数	回	650.00 548.00	560.00 423.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	６児童館の未就学児親子の活動事業数（就学前の親子対象とした活動）で、令和６年度から児童館数が減数したため目標回数を見直し、令和７年度から未就学児と保護者の活動回数を目標値とする。						
(活動)小中学生以上活動事業数	回	400.00 291.00	350.00 262.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00
	指標説明	７児童館の小中学生以上活動事業数 令和６年度からは児童館１館減のため目標を見直し						
(成果)児童館親子ふれあい活動参加者数 R6～児童館利用者	人	38,500.00 11,338.00	48,000.00 59,037.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00
	指標説明	７児童館の親子ふれあい活動参加者の合計数 令和６年度以降目標を変更（６児童館の来館者数と館外活動利用者数の合計数）						
(成果)親子ふれあい活動について満足度８０%以上の人数割合	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	各児童館の親子ふれあい活動（２歳児登録制）参加者の満足度指数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号	0116				
評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了	所属長名	若林　雄一
所属	1488	こども未来部こども・若者政策課		記入者	福本　真子
事務事業番号	00044	ファミリーサポートセンター運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画					
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります					
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします					
施策	001　子ども・子育て支援の充実					
取組の方向性	001　出産前からの切れ目のない支援					
事務事業	006　ファミリーサポートセンター運営事業					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法					
事業概要	（事業概要） 　仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うため、平成１３年４月に「ファミリーサポートセンター」を設立し、同年７月から会員による相互援助活動を行っている。 　事業の管理運営については、社会福祉法人大津市社会福祉協議会に委託している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 出生数の減少に伴い、対象となる子どもが減っている中でも、保護者の働き方の多様化や近所づきあいの希薄化などにより、子どもの見守りを支援する当該事業は一定のニーズがある。 （これまでの見直し） 依頼会員が安心して利用できるよう、国が示す基準に基づいて安全講習の実施を強化している。また、援助会員を増やすために、地域での関係機関の会議での担い手への声掛けや、会員同士の誘い合いを促す取組に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	育児の援助を行いたい者と受けたい者が、ファミリーサポートセンターで会員登録し、
目的(何のために)	仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うために、
手段(どのようなやり方で)	ファミリーサポートセンターのアドバイザーが会員間のニーズのあった調整を行い、援助活動を実施し、
成果(どのような状態にするのか)	仕事と育児の両立支援、地域の子育て支援を行う。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,108	16,495	15,610	15,828	15,828	15,828	15,828
事業費	14,378	14,545	12,100	12,318	12,318	12,318	12,318
国庫支出金	4,792	4,848	4,033	4,106	4,106	4,106	4,106
県支出金	4,792	4,848	4,033	4,106	4,106	4,106	4,106
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,794	4,849	4,034	4,106	4,106	4,106	4,106
人件費計	2,730	1,950	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510
事務・技術（人）	0.35	0.25	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0116
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　00044　ファミリーサポートセンター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-25-00	ファミリーサポートセンター運営事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)センター会員数（新規）	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		159.00	188.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)説明会、講習会等の参加人数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		92.00	93.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)センター活動件数	件	5,539.00	5,644.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00
		3,069.00	3,291.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市全域に子育て支援ネットワークを作る仕組みであるため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	各指標は目標を達していないが成果達成に向けて取り組んでいる。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	委託相手先が市全域に子育てのネットワークを有している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域の力により切れ目のない子育て支援の一部を担っている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本事業について、令和６年度は、保育園・幼稚園の迎え、その後の預かりがそれぞれ200件ほど増加しているが、将来的にも持続可能な体制が維持できるよう取り組む必要がある。そのため事業周知や利用手続きにおける新たなツールの活用など、利便性の向上を図り、新規会員の獲得、特に依頼も援助も行うことができる「両方会員」の加入を促進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	本制度における相互扶助による子育て支援が継続されるよう、利用者の利便性向上に向けた取組を行っていく。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00044　ファミリーサポートセンター運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)センター会員数（新規）	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		159.00	188.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	会員登録数（依頼会員、提供会員、両方会員）						
(活動)説明会、講習会等の参加人数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		92.00	93.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	会員のための講習会、交流会参加人数						
(成果)センター活動件数	件	5,539.00	5,644.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00
		3,069.00	3,291.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	実際に援助活動を行った件数						

IP27P050

事務事業評価シート（１/２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0117
評価年度 令和 6年度　進捗区分 評価完了　所属長名 若林　雄一
所属 1488 こども未来部こども・若者政策課　記入者 奥山　衣美
事務事業番号 00871 青少年健全育成事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010　青少年の健全育成				
取組の方向性	001　子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	001　青少年健全育成事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	地方青少年問題協議会法				
事業概要	（事業概要） 次代を担う青少年を健全に育成するため、本市における青少年健全育成施策を推進する。また、関係団体・機関等と連携を図りながら、家庭・地域・学校が一体となった市民運動として事業を展開し、青少年の健全育成に対する意識高揚を図る。（１）青少年健全育成に係る各種啓発活動　（２）青少年育成市民会議活動への支援　（３）中学生広場の開催				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化や情報化の急速な進展、生活様式の変化など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、不安を抱いたり孤立する青少年が多く存在する。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び青少年関係団体を対象に
目的(何のために)	次代を担う青少年の健全育成を行うために
手段(どのようなやり方で)	青少年育成学区民会議等と連携して事業を展開し
成果(どのような状態にするのか)	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図るとともに、青少年が健やかに成長できる社会環境の整備を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	16,489	18,443	19,385	19,367	19,367	19,367	19,367
事業費	7,463	7,515	7,675	7,657	7,657	7,657	7,657
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	438	211	438	438	438	438	438
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	6,000	0	0	0	0	0
一般財源	7,025	1,304	7,237	7,219	7,219	7,219	7,219
人件費計	9,026	10,928	11,710	11,710	11,710	11,710	11,710
事務・技術（人）	0.55	0.56	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.48	1.64	1.66	1.66	1.66	1.66	1.66
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0117
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　00871　青少年健全育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-01-00	青少年健全育成事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)啓発活動の回数	回	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,096.00	917.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00
		71,108.00	73,590.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各学区と連携した取組であり市内全域での活動に繋がっている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	各学区の参加者は増加しており市民意識の高揚に繋がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	市民団体との役割分担の中で効率的に取り組むことができている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	各学区の積極的な活動により青少年の健全育成に繋がっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	青少年育成学区民会議の活動への参加者数は増加しており、各学区における啓発活動や見守り活動を通じて青少年の健全育成に対する市民意識の高揚に繋がっている。引き続き、青少年の健やかな成長と自立に向けた取組を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	これまでと同様に地域団体と連携し、啓発活動や見守り活動を通して、青少年の健全育成に対する意識醸成を図っていく。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00871　青少年健全育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)啓発活動の回数	回	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,096.00	917.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	あいさつ運動、パトロール回数						
(成果)青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00
		71,108.00	73,590.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	各青少年育成学区民会議活動への参加者数						

IP27P050

事務事業評価シート（１/２）

令和 7年 9月18日

整理番号	0118		
評価年度	令和 6年度	進捗区分　評価完了	所属長名　若林　雄一
所属	1488	こども未来部こども・若者政策課	記入者　奥山　衣美
事務事業番号	02265	子ども・若者育成支援推進事業	

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010　青少年の健全育成				
取組の方向性	001　子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	003　子ども・若者育成支援推進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法、こども大綱				
事業概要	（事業概要） 子ども・若者総合相談窓口と子ども・若者支援地域協議会を設置し、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を支援する体制をつくる。子ども・若者支援地域協議会において、意見交換会、研修会、グループワーク、講演会を実施し、支援機関のスキルアップと連携を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 深刻化している少子高齢化や就業形態の多様化、情報社会の進展による有害情報の拡散、貧困問題、不登校、若年無業者、引きこもりの長期化等の問題が顕在化している。 （見直しや改善等の経過） 平成２９年１０月に子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会を設置。令和３年度には窓口の人員を週１４時間分増員し、体制の充実を図った。令和５年度から当事者交流、体験といった当事者支援事業を子ども・若者総合相談窓口の委託に含めた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を対象に
目的（何のために）	次代を担う子ども・若者を支援するために
手段（どのようなやり方で）	子ども・若者支援地域協議会の各関係機関と意見交換と連携を深め
成果（どのような状態にするのか）	全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	12,263	13,106	17,167	17,248	17,248	17,248	17,248
事業費	8,893	9,174	9,647	9,728	9,728	9,728	9,728
国庫支出金	153	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,740	9,174	9,647	9,728	9,728	9,728	9,728
人件費計	3,370	3,932	7,520	7,520	7,520	7,520	7,520
事務・技術（人）	0.35	0.34	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0118
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　02265　子ども・若者育成支援推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-11-00	子ども・若者育成支援推進事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00 4.00	5.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00 1,909.00	1,300.00 1,666.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	80.00 62.69	80.00 60.65	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	支援地域協議会の開催により団体との連携が図れている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	相談件数は減少したが自立に向けた当事者支援を進めている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	相談窓口の民間委託により相談支援が効率的に進められている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	相談支援、協議会での連携促進を通して施策に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	子ども・若者総合相談窓口における相談支援件数は減少したものの、当事者交流等の場を設けることで、相談者の段階的な社会参加への支援を行っている。子ども・若者支援地域協議会においては、関係機関と連携し、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者が社会的に自立するための支援について引き続き検討を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	相談窓口での相談支援を継続するとともに、子ども・若者支援地域協議会において、困難を有する子ども・若者が社会的に自立するための環境整備について、関係機関等と連携し取組を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02265　子ども・若者育成支援推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00 4.00	5.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	令和２年度より代表者・実務者会議のみをカウントすることに変更						
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00 1,909.00	1,300.00 1,666.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	平成２９年１０月１日開設						
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	80.00 62.69	80.00 60.65	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	代表者・実務者会議への出席率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0119
評価年度　令和 6年度　　進捗区分　評価完了　　所属長名　若林　雄一
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課　　記入者　奥山　衣美
事務事業番号　02384　子育て地域活動支援事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001　出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	003　子育て地域活動支援事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） 福祉７エリア内に、子育て中の家族が気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を整備している。 ・地域子育て支援拠点を、志賀・東部のエリア２カ所で指定管理者により、北部・中北部・南部のエリア３カ所で委託により、中部・中南部のエリア２カ所で直営により、それぞれ実施している。 ・子育てステーション事業を、市立保育園１４カ所で実施している。 （令和７年度から子育てステーション事業は、子育てひろばゆめっこ運営事業へ移行）				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 出生数の減少や幼稚園の３年保育の実施、民間保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は減少傾向にあり、低年齢化が進んでいる。 （見直しや改善等の経過） 市内の各福祉エリアに子育て支援拠点を整備し、互いに情報交換を行うなど子育て情報の共有を行い、事業の見直しを行っている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	就学前の子どもとその家族を対象に
目的（何のために）	子育て中の家族の不安感・負担感を軽減し、孤立化を防止するために
手段（どのようなやり方で）	気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を地域に開設し、
成果（どのような状態にするのか）	安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能を充実させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	50,199	52,358	52,128	46,053	46,053	46,053	46,053
事業費	34,687	37,668	42,248	36,173	36,173	36,173	36,173
国庫支出金	7,687	7,492	11,330	10,597	10,597	10,597	10,597
県支出金	7,465	7,492	11,330	10,597	10,597	10,597	10,597
地方債	0	3,661	5,700	0	0	0	0
その他	0	13	0	14	14	14	14
一般財源	19,535	19,010	13,888	14,965	14,965	14,965	14,965
人件費計	15,512	14,690	9,880	9,880	9,880	9,880	9,880
事務・技術（人）	1.80	0.50	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務（人）	0.00	1.30	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.46	0.65	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0119
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　02384　子育て地域活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-19-00	子育て地域活動支援事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)つどいの広場箇所数	カ所	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ステーション事業実施園数	カ所	14.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)つどいの広場来場者数	人	37,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00
		54,258.00	54,445.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ステーション事業参加者数	人	2,050.00	2,050.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3,659.00	3,727.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各福祉エリアに子育て支援拠点を整備している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	来場者の増加など地域の子育て支援機能の充実が図れている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理等の手法により各福祉エリアで整備ができている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	つどいの広場の整備により子育て支援の充実に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	家族が地域の中で安心して子育てができるよう、関係機関と連携しながら、各福祉エリア内に整備した子育て支援拠点の機能充実を図る。 （志賀・東部のエリア２カ所指定管理、北部・中北部・南部エリア３カ所エリア委託、中部・中南部エリア２カ所直営）		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	地域の子育て支援拠点の機能充実を図り、子育て家庭が利用しやすく、安心して子育てできる環境の整備に努めていく。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02384　子育て地域活動支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)つどいの広場箇所数	カ所	6.00 6.00	6.00 6.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	箇所数						
(活動)ステーション事業実施園数	カ所	14.00 14.00	14.00 14.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	箇所数 令和７年度に「子育てひろばゆめっこ運営事業」へ移行						
(成果)つどいの広場来場者数	人	37,000.00 54,258.00	55,000.00 54,445.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00
	指標説明	来場した大人＋子ども＝来場者数						
(成果)ステーション事業参加者数	人	2,050.00 3,659.00	2,050.00 3,727.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	来場した大人＋子ども＝来場者数 令和７年度に「子育てひろばゆめっこ運営事業」へ移行						

IP27P050

事務事業評価シート（1/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0120
評価年度 令和 6年度　進捗区分 評価完了　所属長名 若林 雄一
所属 1488 こども未来部こども・若者政策課　記入者 早瀬 薫
事務事業番号 02414 子ども・子育て支援事業（こども・若者政策課）

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
基本政策	001 子どもの未来が輝くまちにします
施策	001 子ども・子育て支援の充実
取組の方向性	001 出産前からの切れ目のない支援
事務事業	001 子ども・子育て支援事業（こども・若者政策課）
運営方法	直営
評価区分	対象　／　主な取組区分：対象外
根拠法令等	社会福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法、子ども・若者育成支援推進法
事業概要	（事業概要） 「第２次大津市次世代育成支援行動計画」が、令和２年３月に統合され、新たに策定された「大津市子ども・若者支援計画」に基づき、各施策の進捗管理を行い、分析・評価しながら、取組や事業内容の改善を提言し、計画を推進してきた。 今後は、令和６年度に改訂した「大津市こども・若者支援計画」に基づき、引き続き各施策の進捗管理を行い、分析・評価しながら、取組や事業内容の改善を提言し、計画を推進していく。 なお、定量評価及び定数評価については、評価時点において確定している同計画の進捗状況評価及び評価指標の数値等に基づき評価を実施している。（今回は令和５年度の実績値に基づき評価を実施。）
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化や核家族化の進行、地域の繋がりの希薄化等を背景にした孤立化や新たな待機児童の発生、仕事と子育ての両立の困難さなどにより、子育て世帯にとって不安や負担感が増大している。加えて、子どもの貧困や児童虐待の増加等、子ども・若者を取り巻く環境は厳しい現状である。 （これまでの見直し） 子どもが生まれる前から自立するまでを切れ目なく支え、「子ども・若者の最善の利益」が実現できる社会を目指すため、子ども・若者関連の３つの計画を統合し、前計画を策定した。また、昨年度には、こども基本法に基づくこども計画として位置づけ、本計画の策定を行った。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子ども・若者支援事業を、
目的(何のために)	子どもが生まれる前から自立するまでを切れ目なく支えるため、
手段(どのようなやり方で)	推進・強化し、
成果(どのような状態にするのか)	子ども・若者の最善の利益が実現できる社会を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	57,201	49,249	48,696	48,914	48,914	48,914	48,914
事業費	45,107	30,609	11,200	11,418	11,418	11,418	11,418
国庫支出金	4,789	4,188	2,700	3,193	3,193	3,193	3,193
県支出金	407	614	640	800	800	800	800
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	39,911	25,807	7,860	7,425	7,425	7,425	7,425
人件費計	12,094	18,640	37,496	37,496	37,496	37,496	37,496
事務・技術（人）	1.37	2.00	4.52	4.52	4.52	4.52	4.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.44	0.76	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0120
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　02414　子ども・子育て支援事業（こども・若者政策課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-05-00	子ども・子育て支援事業費（子ども・若者政策課）	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)推進した事業割合	%	100.00 98.14	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)評価指標事業の達成度	%	95.00 98.66	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	子ども・若者支援計画に基づき各事業の推進を図っている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	成果としている評価指標事業の達成度も着実に上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	事業担当課における評価により進捗管理を実施できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	各事業が推進され、切れ目のない支援につながっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	令和７年４月を始期とする大津市こども・若者支援計画に基づき、本市のこども・若者が、安心して自分の力を存分に発揮し、主体的に自らの夢や希望に向かって進むことができる環境を整えるため、関係部局及び部内関係課と連携し、各種施策の推進を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	令和７年４月を始期とする大津市こども・若者支援計画が着実に推進されるよう、部局間の緊密な情報交換や連携を図るとともに、計画の進捗管理を行っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02414　子ども・子育て支援事業（こども・若者政策課）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)推進した事業割合	%	100.00 98.14	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	事業担当課が「拡充」及び「維持・推進」と評価した事業の割合（「事業終了」は除く）　※進捗取りまとめの都合上、当該年度実績値は前年度の実績について記載						
(成果)評価指標事業の達成度	%	95.00 98.66	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	計画評価指標事業について、令和６年度の目標値に対する達成度（割合）の平均　※進捗取りまとめの都合上、当該年度実績値は前年度の達成度について記載						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0121
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ　記入者　小幡　亜紀子
事務事業番号　00011　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001　出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	010　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） 生後４カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問する「大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業」を実施している。保育士と民生委員児童委員が２人一組で訪問し、赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに子育て支援情報の提供を行う。また訪問し、支援が必要な場合はすこやか相談所等に連絡する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 核家族化や地域との関わりが希薄化している中、子育てへの不安感、負担感を抱くことが多く地域での見守りが必要とされている。 令和５年２月２０日より「出産・子育て応援給付金」が開始されたことで、新生児訪問での対応が増えている。 （見直しや改善等の経過） 平成２９年度につどいの広場利用者のニーズ調査を行い、新生児期は子育てに関する情報提供を求めていることから、平成３０年度より子育てハンドブックを対象者全員に配布している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	生後４カ月までの乳児がいる全ての家庭を対象に
目的（何のために）	乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児にとり健全な育成環境を整えていくために
手段（どのようなやり方で）	保育士と民生委員児童委員が２人一組で訪問し
成果（どのような状態にするのか）	支援が必要な家庭に対して適切なサービスが提供できるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	14,673	15,627	17,822	18,247	17,927	17,927	17,927
事業費	5,989	6,607	8,012	8,437	8,437	8,437	8,437
国庫支出金	397	357	773	773	773	773	773
県支出金	357	267	773	773	773	773	773
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,235	5,983	6,466	6,891	6,891	6,891	6,891
人件費計	8,684	9,020	9,810	9,810	9,490	9,490	9,490
事務・技術（人）	0.90	0.90	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.52	0.50	0.60	0.60	0.52	0.52	0.52
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0121
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ
事務事業番号　00011　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-15-00	大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)訪問員研修回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)訪問実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		97.86	98.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域民生委員児童委員等による訪問・見守りが有効である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	出産後早期の家庭訪問は有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の民生委員児童委員と保育園との訪問は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	乳児を抱える家庭の不安解消に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新生児訪問と合わせ、大津で生まれ育つ子ども全ての確認の機会として、今後も地域の保育園、民生委員児童委員の協力を得て事業を継続していく。母子保健課、すこやか相談所との連携のもと、地域の中で子どもが健やかに育つ環境整備を図り、全戸訪問時に必要な子育て支援情報を提供できるよう幅広く情報を収集し発信していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	関係機関等と協力し、子育て中の家庭の孤立化を防ぐため、子育てに関する情報等を提供するなど、地域で安心して子育てができる環境の整備を行う。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00011　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)訪問員研修回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	訪問に伴う研修回数						
(成果)訪問実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		97.86	98.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	訪問率（訪問できた世帯数÷対象世帯数）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号	0122				
評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了	所属長名	若林　雄一
所属	1435	こども未来部子育てひろばゆめっこ		記入者	小幡　亜紀子
事務事業番号	00036	子育て総合支援センター事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001　出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	002　子育て総合支援センター事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	(事業概要) ・大津市の子育て支援に係る企画、実践、情報収集と発信の拠点として事業展開する。 「子どもや子育てに夢が広がる場、世代を超える出会いとつながりあいの場、安心と信頼の気持ちを抱き、誰もが集える場、子育ては楽しい！幸せと感じる場、一人ひとりの出番があり、共に育ち合える場」を理念に、情報の収集と発信事業、親子・家族の交流、学習、体験事業、子育て語り合い相談事業等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出生数の減少や幼稚園の３年保育の実施、保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は低年齢化の傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 利用者が低年齢化していることから、利用者が満足するよう事業内容の見直しを行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	・就学前の子どもとその家族や、子育て支援に関わる関係者等の子育て仲間を対象に
目的(何のために)	・子どもを安心して産み育て、共に育ち合う子育て仲間のつながるまちづくりを推進するために
手段(どのようなやり方で)	・日常的なつどいの場の開設、気軽に集え子育て支援につながる講座の開催、子育てについての相談対応、身近な居住地域における遊びの提供等、人と関わることが心地よいと感じる親子、家族の体験活動を通して
成果(どのような状態にするのか)	・子育ての楽しさや子どもを地域で育て合う大切さを認識し、自身の子育てに活かし、子育て仲間とつながり合い、共に子育てを楽しむことを通して、子育ての負担感を軽減し、子どもを産み育てることに喜びを見い出す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	70,217	73,193	73,311	73,602	73,602	73,602	73,602
事業費	22,591	19,863	12,461	12,752	12,752	12,752	12,752
国庫支出金	4,281	3,471	4,195	4,346	4,346	4,346	4,346
県支出金	4,281	3,471	4,195	4,346	4,346	4,346	4,346
地方債	9,500	7,726	0	0	0	0	0
その他	46	66	152	152	152	152	152
一般財源	4,483	5,129	3,919	3,908	3,908	3,908	3,908
人件費計	47,626	53,330	60,850	60,850	60,850	60,850	60,850
事務・技術（人）	3.55	3.55	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	6.23	6.41	7.90	7.90	7.90	7.90	7.90
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0122
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1435 こども未来部子育てひろばゆめっこ
事務事業番号 00036 子育て総合支援センター事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-11-00	子育て総合支援センター事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
（活動）子育て講座開催回数	回	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		177.00	197.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）年間事業参加人数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00
		5,063.00	7,003.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）子育て総合支援センター開設日	日	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00
		292.00	290.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）子育て総合支援センター来場者数	人	24,500.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00
		60,332.00	61,882.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市内６か所のつどいの広場を統括する拠点であるため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子育て中の家族に必要な施設である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	他機関と連携の他に、アプリを活用し効率的な情報発信をしている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	つどいの広場提供や、情報発信等により子育て支援に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	子育て家庭の状況を把握し、市内の子育て支援の拠点として、関係機関や子育て支援者と連携し、子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。 また、子育てアプリ等を活用して幅広く子育ての情報を発信し、保護者からの子育てに関する相談に応じ、切れ目ない子育て支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	保護者が安心して生き生きと子育てできるよう、関係機関等と連携を図りながら、切れ目のない子育て支援の充実に努めていく。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00036　子育て総合支援センター事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
（活動）子育て講座開催回数	回	95.00 177.00	95.00 197.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	講座開催回数						
（成果）年間事業参加人数	人	6,500.00 5,063.00	6,500.00 7,003.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00
	指標説明	講座等参加者保護者＋子ども＝人数						
（活動）子育て総合支援センター開設日	日	292.00 292.00	292.00 290.00	292.00 0.00	292.00 0.00	292.00 0.00	292.00 0.00	292.00 0.00
	指標説明	開館日数　【令和７年度からの施設名：子育てひろばゆめっこ】						
（成果）子育て総合支援センター来場者数	人	24,500.00 60,332.00	60,000.00 61,882.00	60,000.00 0.00	60,000.00 0.00	60,000.00 0.00	60,000.00 0.00	60,000.00 0.00
	指標説明	来場した保護者＋子ども＝人数（令和5年度5月より自由来館となったため、令和6年度より目標値を変更した）【令和７年度からの施設名：子育てひろばゆめっこ】						
(活動)ステーション事業実施園数	箇所	0.00 0.00	0.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	箇所数　【令和７年度に「子育て地域活動支援事業」より移行】						
(成果)ステーション事業参加者数	人	0.00 0.00	0.00 0.00	2,050.00 0.00	2,050.00 0.00	2,050.00 0.00	2,050.00 0.00	2,050.00 0.00
	指標説明	来場した大人＋子ども＝来場者数　【令和７年度に「子育て地域活動支援事業」より移行】						

IP27P050

事務事業評価シート（１/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0123
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了　所属長名　大南　公彦
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　赤井　加代子
事務事業番号　00017　幼稚園子育て支援事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002　質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	013　幼稚園子育て支援事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	学校教育法２４条・幼稚園教育要領				
事業概要	（事業概要） 幼稚園が、地域や家庭の実情に応じながら、子育て支援機能を活用して「親と子の育ちの場」としての役割や機能を充実し、家庭や地域の教育力を支える。 （主な事業） ・一時預かり事業・親子の絆を深める子育て支援事業・未就園（０～２歳児）親子通園・子育て講座・子育て相談・園庭園舎開放				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 身近に子育ての悩みや不安を相談できる人がおらず子育てにストレスを感じる保護者や子どもとの関わり方が分からず親子関係に課題のある保護者が見られる。 （見直しや改善等の経過） 気軽に親子で来られる場としての事業や内容を改善し、親子の触れ合い遊びや家庭でもできる遊びを提供し、園と家庭がつながるような取組を推進した。また就労など保育の必要性に応じた預かり保育の拡充に取り組んだ。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市内各地域の未就園親子ならびに幼稚園在園親子を対象として
目的（何のために）	地域における子育ての孤立化解消及び家庭の教育力向上を図るため
手段（どのようなやり方で）	未就園親子通園、園庭園舎開放、遊具用具絵本等の貸し出し、子育て相談、子育て講座、在園児預かり保育、子育て情報の提供等の子育て支援施策により
成果（どのような状態にするのか）	幼児の心身の発達の助長と保護者の子育てに対する喜びや充足感、幼児の育ちに対する理解等を一層推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	102,684	130,099	127,529	127,494	127,494	127,494	127,494
事業費	1,412	4,523	1,953	1,918	1,918	1,918	1,918
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	197	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,215	4,523	1,953	1,918	1,918	1,918	1,918
人件費計	101,272	125,576	125,576	125,576	125,576	125,576	125,576
事務・技術（人）	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0123
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00017　幼稚園子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-10-80-00-01-00	幼稚園子育て支援事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)未就園親子通園等の実施回数	回	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00
		2,693.00	2,926.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)在園児預かり保育の実施回数	回	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
		6,923.00	6,977.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)未就園親子通園等の参加人数	人	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00
		18,819.00	18,970.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)在園児預かり保育利用人数	人	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00
		88,798.00	90,339.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域の子育てを支援する役割を担っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	親子活動に期待しリピーターが増えてきている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	全園で子育て指導員を配置し計画的な事業の充実を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域の子育て支援の拠点として家庭の教育力を支え、推進している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	家庭の価値観の多様化がみられる中、未就園事業のあり方や内容を工夫し、保護者とのつながりを大事にして、安心して事業に参加できるように努めている。また、預かり保育時間の延長を行い事業の充実を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	市立幼稚園では、幼児教育に加えて、子育て支援機能の役割を果たすとともに、地域における親と子の育ちの場を築いている。今後は子育て支援機能の充実について、子育てニーズを捉えた事業を進めていく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00017　幼稚園子育て支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)未就園親子通園等の実施回数	回	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00
		2,693.00	2,926.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ回数						
(活動)在園児預かり保育の実施回数	回	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
		6,923.00	6,977.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	平成２２年度からの開始事業・市立幼稚園の子育て支援預かり保育実施合計回数						
(成果)未就園親子通園等の参加人数	人	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00
		18,819.00	18,970.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ参加人数（Ｒ２から３年保育全園実施）						
(成果)在園児預かり保育利用人数	人	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00
		88,798.00	90,339.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	市立幼稚園子育て支援預かり保育利用人数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号	0124				
評価年度	令和 6年度	進捗区分　評価完了	所属長名	大南　公彦	
所属	1447	こども未来部幼保支援課	記入者	北井　恭子	
事務事業番号	00058	職員研修事業（幼保支援課）			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002　質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	006　職員研修事業（幼保支援課）				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法第４５条				
事業概要	(事業概要) ・保育所に求められる役割に応えるため、研修や研究活動を通して公私立保育園職員の資質向上を図り、保育所運営及び、保育内容の質を高める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) ・子どもの命と権利を守るセーフティネットとしての役割を担い、子どもの発達保障と保護者の子育てを支援するという保育者の専門性と資質向上が更に求められている。 (見直しや改善等の経過) ・第６次研修計画を策定し、計画に基づき実施。対象毎の課題の明確化、研修参加者の学びの共有化を図りつつ進めた。主体的な参加を目指す。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公立保育所の職員を対象とする。（一部民間保育所職員・地域型保育事業職員も参加の研修とする）
目的(何のために)	保育所等に働く職員が、保育所の運営及び保育内容の質を高め資質向上を図る
手段(どのようなやり方で)	対象者別育成研修（経験年数や職種で分けるもの）及びテーマ（内容）別研修の開催や県・近畿・全国レベルの研修会への派遣・研究部会活動の実施
成果(どのような状態にするのか)	子どもや保護者の実態やその背景の社会情勢を認識し、保育に関する知識と技術を用いて適切に判断・対応する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	9,990	13,745	12,793	12,948	12,948	12,948	12,948
事業費	1,032	1,485	1,493	1,648	1,648	1,648	1,648
国庫支出金	542	515	538	552	552	552	552
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	490	970	955	1,096	1,096	1,096	1,096
人件費計	8,958	12,260	11,300	11,300	11,300	11,300	11,300
事務・技術（人）	0.50	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.50	1.10	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0124
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00058　職員研修事業（幼保支援課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-07-00	職員研修事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)実施回数	回	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00
		60.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		3.00	3.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加人数	名	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00
		1,451.00	1,433.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	国や県、関係団体等の研修を活用し、資質の向上に繋がっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	職員の保育力の向上につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	経験年数や職種などそれぞれの状況に応じた研修が実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保育園職員の資質の向上が施策の充実につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	研修計画に基づき、それぞれの職員に求められる役割や専門性、様々な時事課題や多様な保育ニーズに対応できる研修内容を企画し実施していく。職員の目的意識の向上、キャリアデザインを意識した主体的な学びを目指す。また、オンライン研修の実施や園内の学びの共有などの工夫を図り、保育の質を向上させていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	公立・民間問わず実施している研修事業は、本市の保育の質の向上に不可欠であり、基本的な保育スキルとともに、社会情勢等も踏まえた研修内容が必要である。今後も職員一人ひとりの資質の向上に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00058　職員研修事業（幼保支援課）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)実施回数	回	63.00 60.00	63.00 60.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00
	指標説明	年間で開催した研修会、研究部会、派遣研修の回数						
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00 3.00	6.00 3.60	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	参加総数／公立保育園等職員数						
(成果)参加人数	名	1,800.00 1,451.00	1,800.00 1,433.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00
	指標説明	年間で参加した総数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号	0125				
評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了	所属長名	大南　公彦
所属	1447	こども未来部幼保支援課		記入者	大辻　広美
事務事業番号	00060	公立保育所運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002　質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	007　公立保育所運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法				
事業概要	（事業概要） 公立保育園の管理・運営を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 就学前児童数は減少しているが、共働き世帯の増加等により保育需要は高い。また、保育士人材の確保が難しいこともあり、入所児童は減少している。一方で、要支援児については増加傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 平成２８年度に浜大津保育園を民営化し市の財政負担の軽減を行ったが、令和元年度に民営化の推進が撤回されたため、今後は財政負担と大津の保育の質の維持等を考慮しつつ、適正な運営を行う。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公立保育園及び入所児童
目的(何のために)	公立保育園の管理・運営及び保育の実施
手段(どのようなやり方で)	「望ましい環境の中で心身ともに調和のとれた発達を図り、自主・自立・協調性を養い、豊かな情操と創造性を培う」を大津市基準保育目標とし、保育を実施する。
成果(どのような状態にするのか)	各年齢ごとに発達の特徴とねらい、内容、保育者のかかわり方を「保育課程」として作成し職員が共通理解の上で子どもの自発性を大切に興味や欲求を満たした生活や遊びを通して個々の発達に応じた保育をする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	2,295,173	2,428,201	2,587,023	2,585,735	2,585,735	2,585,735	2,585,735
事業費	147,167	154,191	153,063	151,775	151,775	151,775	151,775
国庫支出金	4,560	0	0	0	0	0	0
県支出金	642	42	26	125	125	125	125
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	54,240	66,082	55,363	58,975	58,975	58,975	58,975
一般財源	87,725	88,067	97,674	92,675	92,675	92,675	92,675
人件費計	2,148,006	2,274,010	2,433,960	2,433,960	2,433,960	2,433,960	2,433,960
事務・技術（人）	198.17	180.35	179.80	179.80	179.80	179.80	179.80
技能労務（人）	6.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
再任用（人）	0.00	1.90	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
会計年度任用（人）	176.40	203.04	244.97	244.97	244.97	244.97	244.97
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0125
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00060　公立保育所運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-15-41-00-01-00	公立保育所等運営事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)年度当初入所定員	人	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
		1,520.00	1,530.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年度当初入所児童数	人	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
		1,025.00	959.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)障害児の受入児童数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		124.00	98.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	保育の提供拠点として公立保育所ならではの保育が提供できている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	公立保育所に求められる指導的・先導的役割を果たしている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	民間園に知識・技能を効率的に伝え、保育の質の向上を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保育の提供や保育の質の向上に不可欠な役割を果たしている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	公立保育園として市全体の保育の質を担保するために必要不可欠な役割を果たしており、財政的な観点と保育の質の維持・向上のバランスを取りながら適正な運営、管理を行っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	大津市基準保育目標に基づき公立保育園の運営を行うことにより、適正な保育を提供することが出来るため、継続的に事業を進める必要がある。また、保育ニーズの変化に対応できるように保育の質の担保を図る必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00060　公立保育所運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)年度当初入所定員	人	1,533.00 1,520.00	1,533.00 1,530.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00
	指標説明	公立保育園の入所定員（４月１日現在）						
(成果)年度当初入所児童数	人	1,533.00 1,025.00	1,533.00 959.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00
	指標説明	公立保育園の入所児童数（４月１日現在）						
(成果)障害児の受入児童数	人	100.00 124.00	100.00 98.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	公立保育園の入所障害児数（４月１日現在）※平成２８年度より指標に追加						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0126
評価年度　令和 6年度　　進捗区分　評価完了　　所属長名　大南　公彦
所属　1447　こども未来部幼保支援課　　記入者　山形　基之
事務事業番号　00175　幼稚園管理運営事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002　質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	016　幼稚園管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 幼稚園２８園、こども園１園の管理運営をはじめ、幼児教育活動に必要となる教材や設備等の教育環境の充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化や共働き世帯の増加など、社会状況の変化に伴い、幼児教育施設が多様化する中で、幼児教育の質の向上や教育環境の充実が求められている。 （見直しや改善等の経過） 市立幼稚園の３年保育の全園実施、規模適正化計画の推進に加えて、今後、財政負担と大津の教育環境の維持等を考慮しつつ、適正に運営管理を行う。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	園児・教職員
目的（何のために）	各幼稚園の管理運営及び教育活動を円滑に行う。
手段（どのようなやり方で）	各幼稚園の地域の実態に応じ、工夫を凝らした教育環境整備に努める。
成果（どのような状態にするのか）	幼児教育環境の整備・充実を図る。

【コスト】（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	51,758	53,339	53,484	51,564	51,564	51,564	51,564
事業費	46,988	48,449	48,594	46,674	46,674	46,674	46,674
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	3,599	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	286	0	0	0	0	0	0
一般財源	43,103	48,449	48,594	46,674	46,674	46,674	46,674
人件費計	4,770	4,890	4,890	4,890	4,890	4,890	4,890
事務・技術（人）	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0126
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00175　幼稚園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-05-08-00-07-00	幼稚園管理運営費（幼保支援課）	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)教材費（消耗品＋印刷製本費－図書）	千円	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		4,678.00	5,780.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)園児１人当たりの教材費（４歳以上）	円	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
		3,574.00	4,781.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	質の高い幼児教育を提供するために教育環境の整備が必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	教育環境の整備に係る成果が図られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の実態に応じ、効率的に処理できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	幼稚園のニーズを反映している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民ニーズが大きく変化する中で、効率的に幼児教育の環境整備を進めていくとともに、適正な園の運営を行う必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	働き方の多様化等に伴い幼稚園の園児数が減少傾向にある中、市立幼稚園再編等検討委員会にて、子どもにとってより良い教育・保育の環境を確保するための検討を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00175　幼稚園管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)教材費（消耗品＋印刷製本費－図書）	千円	8,000.00 4,678.00	8,000.00 5,780.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00
	指標説明	実績値：決算額						
(成果)園児１人当たりの教材費（４歳以上）	円	5,500.00 3,574.00	5,500.00 4,781.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00
	指標説明	年間教材費／園児数（4歳以上）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0127
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了　所属長名　大南　公彦
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　山形　基之
事務事業番号　02423　子ども・子育て支援事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002　質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	015　子ども・子育て支援事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） ①次世代を担う子ども・子育てを社会全体で支援するための施策の検討（多様な方策による保育所待機児童の解消や地域における子育て支援機能の充実）　②子育て家庭をとりまく社会での家庭支援意識の醸成を図る。　③子ども・子育て支援事業計画の施策を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子ども・子育て支援事業計画に基づく教育・保育の確保、保育人材の確保はますます重要となり、少子化社会対策と相まって日本社会の最重要課題となっている。 （見直しや改善等の経過） 子ども・子育て支援事業計画は、令和２年度から、子どもが生まれる前から自立するまでを対象とした「大津市子ども・若者支援計画」に統合し、その計画の趣旨・背景を踏まえた取り組みを行っている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	子育て世代を対象として
目的（何のために）	子ども・子育て支援の充実を図るために
手段（どのようなやり方で）	子ども・若者支援計画に基づく施策を展開し
成果（どのような状態にするのか）	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上と量の拡充が図られる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	14,062	14,182	24,753	14,194	14,194	14,194	14,194
事業費	7,732	7,732	18,303	7,744	7,744	7,744	7,744
国庫支出金	3,602	3,710	4,325	3,841	3,841	3,841	3,841
県支出金	0	0	1,200	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,130	4,022	12,778	3,903	3,903	3,903	3,903
人件費計	6,330	6,450	6,450	6,450	6,450	6,450	6,450
事務・技術（人）	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0127
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　02423　子ども・子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-70-00	子ども・子育て支援事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催	回	3.00 3.00	3.00 6.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法定計画に基づいた本市の子育て施策の根幹となる事業である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上に貢献			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	現状を詳細に分析し、計画に基づく事業であり効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	総合計画で重要施策に位置付けられている事業で貢献度は高い			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	子育て支援や保育の充実に取り組むとともに、待機児童数の改善に向けた保育人材確保の取り組みを継続的に実施していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	高まる保育ニーズへの対応と待機児童の解消のため、保育人材の確保と保育の質の向上に向けた取組が重要であり、今後も重点的に取り組んでいく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02423　子ども・子育て支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催	回	3.00 3.00	3.00 6.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	子ども・若者支援計画の意見聴取、進捗管理を行う会議の開催回数						
(成果)教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	支援計画の年度末の教育・保育、地域子育て支援事業の総確保割合						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0128
評価年度 令和 6年度　進捗区分 評価完了　所属長名 大南　公彦
所属 1447 こども未来部幼保支援課　記入者 山形　基之
事務事業番号 02547 学校図書充実事業（幼稚園）

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002　質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	022　学校図書充実事業（幼稚園）				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律				
事業概要	(事業概要) 幼稚園児の読書活動を推進するため、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 幼稚園児の読書活動を推進するため、第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図っている。 (見直しや改善等の経過) 第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき引き続き各幼稚園の蔵書等の整備を行う。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各幼稚園に
目的(何のために)	各幼稚園の蔵書の充実のために
手段(どのようなやり方で)	園児用図書を購入し
成果(どのような状態にするのか)	幼稚園児が図書に親しむ機会が増える。

【コスト】（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,483	1,487	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470
事業費	1,405	1,409	1,392	1,392	1,392	1,392	1,392
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,080	1,399	200	0	0	0	0
一般財源	325	10	1,192	1,392	1,392	1,392	1,392
人件費計	78	78	78	78	78	78	78
事務・技術（人）	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0128
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　02547　学校図書充実事業（幼稚園）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-41-00	学校図書充実事業費〔幼稚園〕	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)図書購入数	冊	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
		826.00	792.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)平均図書購入数	冊	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
		29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	多様な図書に触れることで子どもの感受性の発達に寄与するため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	幼児期の教育の質の向上と園児の感受性の発達において有効			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	子どもの学習と生きる力を養う基盤につながり効率性がある			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	図書との触れ合いは園児の発達的な側面からも貢献度が高い			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	子どもたちが身近な場所で楽しみながら図書を選び、読み、触れ合う機会を提供することは、幼稚園教育要領に定められた言葉の獲得に関する領域を中心とした発達に非常に有効である。そのため、引き続き図書の充実を図っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学校図書の充実については、園児の育ちや感受性を高めるために重要なことであり、今後も計画的に図書の充実を図っていく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02547　学校図書充実事業（幼稚園）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)図書購入数	冊	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
		826.00	792.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	各幼稚園の図書購入冊数						
(成果)平均図書購入数	冊	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
		29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	購入冊数／３３園　（Ｈ２８から３２園）（Ｈ３０から３１園）（Ｒ３から２９園）（Ｒ６から２８園）						

IP27P050

事務事業評価シート（１/２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0129
評価年度 令和 6年度　進捗区分 評価完了　所属長名 大南 公彦
所属 1447 こども未来部幼保支援課　記入者 赤井 加代子
事務事業番号 02621 学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001 子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001 子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002 質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	027 学校支援総合推進事業〔幼稚園〕				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 各園において幼稚園協力者会議を組織し、幼稚園と地域・保護者がともに協力し合い子どもの育成にあたる。幼稚園運営支援の一方策として、外部人材活用を積極的に行い、子どもとのかかわりや保育環境への働きかけ、安全教育にかかわる取り組みや学校（幼稚園）評価を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 社会が複雑多様化し、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちに豊かな感性や道徳心、人間関係作りなどの力を育み、社会生活を送るうえで必要な資質、能力、態度を育成することが大切である （見直しや改善等の経過） 各園で、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てていこうとする取組が推進されている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園を対象に
目的(何のために)	幼稚園が家庭や地域社会との結びつきを深め、社会全体で子どもを見守る体制をつくるために
手段(どのようなやり方で)	学校（幼稚園）協力者会議を組織・開催するとともに、地域人材の積極的活用の推進を図り
成果(どのような状態にするのか)	大津市学校園経営の指針に掲げる多様性の尊重と一人一人を大切にした教育を推進し、地域や社会に開かれた園経営を目指す。

【コスト】（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,390	1,460	1,060	1,060	1,060	1,060	1,060
事業費	290	280	280	280	280	280	280
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	290	280	280	280	280	280	280
人件費計	1,100	1,180	780	780	780	780	780
事務・技術（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0129
評価年度　令和 6年度　　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　02621　学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-02-00	学校支援総合推進事業費〔幼稚園〕	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)学校（幼稚園）協力者会議の開催回数	回	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00
		74.00	73.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)子どもの幼稚園満足度	点	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		3.00	2.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	家庭、地域と連携を図り子どもの育成に取り組んでいる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	園教育への協力体制の充実、安全確保への支持等につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	外部人材の活用が人と関わる力の育成や豊かな体験に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもの学び、子育て支援に直接つながる事業である			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	今後も校園と地域、保護者がより緊密な連携を図り、地域の子どもを共に育成する体制を整えていく。また、豊かな体験につながるよう外部人材を活用した事業についても推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	幼稚園と地域・保護者がともに協力して子どもの育成を図る上で、外部人材を活用することは有効である。質の高い幼児教育のために、引き続き適切な事業の推進に努める必要がある。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02621　学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)学校（幼稚園）協力者会議の開催回数	回	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00
		74.00	73.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	幼稚園全体における開催回数の合計（各園３回／Ｒ３から園）						
(成果)子どもの幼稚園満足度	点	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		3.00	2.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	学校評価における各園の関係者評価結果の平均点						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号	0130			
評価年度	令和 6年度	進捗区分　評価完了	所属長名	森　雅樹
所属	1410	こども未来部保育入所課	記入者	平松　理枝
事務事業番号	00063	民間保育施設運営助成事業		

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002　質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	001　民間保育施設運営助成事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	保育所等運営補助金交付要綱等				
事業概要	（事業概要） 民間保育所等に対し、障害児保育補助など保育士の加配に要する経費など、運営費の一部を助成をすることで保育の充実を図っていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化や女性就労の対応及び幼児教育・保育の無償化による保育ニーズは年々増加する中で、待機児童解消への期待とともに保育の質の向上が求められる。 （見直しや改善等の経過） 事業計画に基づく民間保育所等の整備強化に伴う保育士等の処遇改善や特別加配等の助成を制度化し、保育の質の向上に資する。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	児童福祉法に基づく認可を受けた民間保育所等
目的（何のために）	民間保育所等の保育の充実、公民格差の是正、特別保育事業の実施
手段（どのようなやり方で）	保育所等が実施する各事業の経費を補助することによって
成果（どのような状態にするのか）	民間保育所等の保育の充実が図られ、もって児童福祉の増進を図る。

【コスト】（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,811,554	1,876,662	1,855,453	1,819,077	1,819,077	1,819,077	1,819,077
事業費	1,793,254	1,859,832	1,838,623	1,802,247	1,802,247	1,802,247	1,802,247
国庫支出金	215,861	231,282	176,623	184,438	184,438	184,438	184,438
県支出金	199,236	223,165	246,359	164,894	164,894	164,894	164,894
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,378,157	1,405,385	1,415,641	1,452,915	1,452,915	1,452,915	1,452,915
人件費計	18,300	16,830	16,830	16,830	16,830	16,830	16,830
事務・技術（人）	2.10	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0130
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1410　こども未来部保育入所課
事務事業番号　00063　民間保育施設運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-20-54-00-01-00	民間保育施設運営助成事業費	福祉部子ども未来局保育幼稚園課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
（活動）年度当初入所定員数	人	7,083.00	7,043.00	7,110.00	7,110.00	7,110.00	7,110.00	7,110.00
		7,043.00	7,041.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）障害児受入園	園	70.00	73.00	73.00	73.00	73.00	73.00	73.00
		73.00	72.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）年度当初受入児童数	人	7,061.00	7,061.00	7,064.00	7,064.00	7,064.00	7,064.00	7,064.00
		7,038.00	7,107.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	国及び県の手引きの基に助成制度を整備していることは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	概ね民間保育所等の安定的な運営に対する効果が出ている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	高い保育の質を維持するのに運営助成は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保育所等の保育士確保と保育の質の効用に運営助成が貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	各保育施設では、補助金の活用により保育士等職員の確保と処遇改善が実施され、高い保育の質の維持に取り組んでいる。保育士等職員の確保は児童の受け入れ増加に繋がり、待機児童対策として重要であることから、今後も引き続き補助金の活用を促進し、保育の質の向上に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	高まる保育ニーズに対応するため、今後も事業を継続していくとともに、関係所属で連携しながら様々な観点から待機児童対策に資する事業を推進し、保育士確保に取り組んで行く必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1410　こども未来部保育入所課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00063　民間保育施設運営助成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
（活動）年度当初入所定員数	人	7,083.00 7,043.00	7,043.00 7,041.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00
	指標説明	４月１日時点の保育所及び認定こども園の保育利用定員数						
（成果）障害児受入園	園	70.00 73.00	73.00 72.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00
	指標説明	４月１日時点の保育所及び認定こども園の障害認定児童受入園数						
（成果）年度当初受入児童数	人	7,061.00 7,038.00	7,061.00 7,107.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00
	指標説明	４月１日時点の保育所及び認定こども園の保育利用園児数						

IP27P050

事務事業評価シート（1/2）

令和 7年 9月18日

整理番号　0131
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤川　義則
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課　記入者　宇田　むつみ
事務事業番号　00025　母子父子福祉対策事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002　心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006　安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002　自立支援の推進				
事務事業	003　母子父子福祉対策事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市寡婦福祉住宅条例				
事業概要	(事業概要) 母子・父子家庭等の自立促進と福祉の増進を図るため、各種事業を推進する。 寡婦福祉住宅事業　（７戸） 母子福祉団体の育成事業（大津市母子福祉のぞみ会） 母子家庭等の相談事業（母子父子自立支援員２名、ひとり親家庭福祉推進員４８名）				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 子どもの貧困問題が大きな課題となっている中、低収入の割合が高いひとり親家庭にとっては、物価高騰により安定した生活を営む見通しが持ちにくくなっている。 (見直しや改善等の経過) 寡婦福祉住宅の廃止に向けて、現入居者に機会を見つけて退去の話をしている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭、父子家庭および寡婦の
目的(何のために)	生活の安定と福祉促進を図るために
手段(どのようなやり方で)	生活全般の相談を受け、情報提供や支援を行うとともに、母子福祉団体団体への補助を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	母子・父子家庭、寡婦が安心して生活し、児童が健全に養育されるようになる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	3,504	4,911	4,708	3,928	3,928	4,143	3,928
事業費	2,084	1,671	2,348	1,568	1,568	1,783	1,568
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	108	108	108	108	108	108	108
一般財源	1,976	1,563	2,240	1,460	1,460	1,675	1,460
人件費計	1,420	3,240	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360
事務・技術（人）	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.42	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0131
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
事務事業番号　00025　母子父子福祉対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-01-00	母子父子福祉対策事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)寡婦住宅の入居者の年間延べ人数	人	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(活動)母子福祉団体補助金の年間支給額	千円	500.00 267.00	500.00 320.19	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
(成果)寡婦住宅の入所率	%	14.29 14.29	14.29 14.29	14.29 0.00	14.29 0.00	14.29 0.00	14.29 0.00	14.29 0.00
(成果)母子福祉団体の事業参加人数	人	250.00 262.00	250.00 274.00	280.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	推進員や団体の活動はひとり親家庭の地域支援を展開している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	団体の活動を通じ、情報提供や具体的支援が出来ている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	団体の自主運営によりひとり親家庭に寄り添った支援が可能			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	ひとり親家庭の自立支援につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	母子福祉団体では、フードパントリーや子ども食堂を始め、各種イベントなどを通じて子どもの貧困対策事業を積極的に展開しながらひとり親の生活ニーズに対応しており、市としても連携しながらニーズの把握に努めていく。ひとり親家庭福祉推進員事業については、よりひとり親のニーズに沿った相談支援に臨めるよう、関係団体の意見を参考に、その在り方や活動方法を引き続き検討し、自立に向けたよりよい支援につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	関係団体との連携・協力を図りながら、ひとり親家庭への支援の充実に引き続き取り組んでいくとともに、ひとり親家庭福祉推進員のあり方について検討し、充実した支援につながるよう取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00025　母子父子福祉対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)寡婦住宅の入居者の年間延べ人数	人	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	寡婦福祉住宅７戸中の入所者（月/年）						
(活動)母子福祉団体補助金の年間支給額	千円	500.00 267.00	500.00 320.19	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	大津市母子福祉のぞみ会活動補助金額　令和４年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により未実施事業あり						
(成果)寡婦住宅の入所率	%	14.29 14.29	14.29 14.29	14.29 0.00	14.29 0.00	14.29 0.00	14.29 0.00	14.29 0.00
	指標説明	寡婦福祉住宅７戸中の入所率						
(成果)母子福祉団体の事業参加人数	人	250.00 262.00	250.00 274.00	280.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00
	指標説明	母と子のスポーツ大会・母子寡婦福祉大会、ふれあい広場他　令和４年度以降新型コロナウイルス感染症の影響により未実施事業あり						

事務事業評価シート（1/2）

令和 7年 9月18日

整理番号　0132
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤川　義則
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課　記入者　山田　結実
事務事業番号　00030　母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002　心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006　安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002　自立支援の推進				
事務事業	008　母子家庭等就業・自立支援センター運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市母子家庭等就業・自立支援センター事業実施要綱他				
事業概要	(事業概要) 母子家庭の母を取り巻く生活環境は大変厳しいことから、不安定な就労や、資格等のスキルを持たない母子家庭の母等に対し、家庭状況、職業適正、就業経験等に応じた就業相談を実施。就業に結びつきやすい就業支援講習会、公共職業安定所等職業紹介機関と連携した就業情報の提供を行うと同時に、離婚前相談や養育費確保に向けた、弁護士・司法書士による特別相談等の事業を実施し、ひとり親家庭の生活の安定を確保し、児童の福祉の増進を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、養育費の減額や未払い、減収に追い討ちをかけるように物価高騰が家計を圧迫している。収入増に向けた就労相談も多く、家計改善も合わせ、安定した生活に向けた包括的な相談支援が求められている。 (見直しや改善等の経過) 平成２６年度にセンター事業を委託から直営に戻し、利用者の利便性の向上と他の相談員との連携向上に努めた。平成３０年度からは養育費支援事業を拡大し令和２年度より養育費確保の新規事業を開始。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭の母、父子家庭の父等（ＤＶ被害により、止むを得ない事情により離婚の届出を行っていないもの等を含む）及び離婚を考えている者に対して
目的(何のために)	ひとり親家庭としての生活の安定と児童の福祉増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	①職業相談及び就業情報の提供②就業支援講習会などの実施③公共職業訓練受講の案内④母子・父子自立支援プログラム策定⑤特別相談（弁護士・司法書士による法律相談）⑥養育費確保に向けた支援等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	新規就職、雇用条件の向上、養育費の確保ができ経済的に安定した生活を送れるようになる

【コスト】（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	11,455	14,973	18,158	18,289	18,289	18,289	18,289
事業費	2,913	3,875	4,678	4,809	4,809	4,809	4,809
国庫支出金	1,653	1,920	2,324	2,384	2,384	2,384	2,384
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	23	35	40	40	40	40	40
一般財源	1,237	1,920	2,314	2,385	2,385	2,385	2,385
人件費計	8,542	11,098	13,480	13,480	13,480	13,480	13,480
事務・技術（人）	0.25	0.31	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.06	2.17	2.59	2.59	2.59	2.59	2.59
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0132
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
事務事業番号　00030　母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-10-00	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)センターでの相談件数	件	700.00	700.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		598.00	825.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)就労支援講習会参加数	人	45.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		35.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		30.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	生活安定のため就労の支援は必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	物価高騰等の影響は受けつつ新規就労や雇用条件向上に繋げている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	個別相談に応じることで就労に繋がりやすい			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	安定した就労によりひとり親の自立を推進させている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	離婚前相談や就労相談に加え生活相談が増える中、ひとり親の自立に向けた包括的な支援の必要性が高まっている。支援員の知識・経験の向上に努めるとともに、他の相談員、ハローワークを始め他機関・他団体との連携を密にし、ひとり親家庭の安定した生活に向けた支援を強化していく。また、養育費や面会交流に対する意識の向上に努め、児童の健全な育成に向けた支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	ひとり親家庭の生活の安定に向けて、収入増につながる就労に向けた支援を行うとともに、養育費の確保や家庭相談など、離婚前後の生活安定につながる相談支援を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00030　母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)センターでの相談件数	件	700.00 598.00	700.00 825.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00
	指標説明	母子家庭等就業・自立支援センターでの母子家庭の母等の就労相談や離婚前相談等の件数（来所相談延件数） ※離婚前相談等が追加されているため、令和４年度より指標名を変更する。						
(活動)就労支援講習会参加数	人	45.00 35.00	40.00 32.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	センターが実施する就労支援講習会への参加数。令和６年度より一部の講座を統合する。（３講座→２講座）						
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件	50.00 30.00	50.00 28.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	就労相談、プログラム策定後の新規採用・雇用条件向上した者の件数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0133
評価年度 令和 6年度　進捗区分 評価完了
所属 1406 こども未来部子育て支援給付課
事務事業番号 00035 母子父子寡婦福祉資金貸付事業

所属長名 藤川 義則
記入者 山田 結実

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002 心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006 安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002 自立支援の推進				
事務事業	012 母子父子寡婦福祉資金貸付事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法				
事業概要	（事業概要） 母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、平成２１年度、本市の中核市移行に伴い滋賀県から権限移譲された事業であり、母子及び父子並びに寡婦福祉法第１３条等に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、その扶養している児童の福祉の増進を図るため修学資金を始めとした各種貸付を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ひとり親家庭は、平均収入が全国平均より低く、とりわけ母子家庭ではその傾向が強く、十分な貯蓄ができない場合が多い。そのため、修学資金など生活費以外の費用に対応できない家庭がある。一方、低所得の家庭への修学機会の拡大を図るため、学費等の給付金制度が充実してきている。 （見直しや改善等の経過） 国の制度改正に基づき見直しを実施。平成２６年度より父子家庭にも対象拡大。平成２８年度一部の貸付について貸付限度額の引き上げ。平成３０年度、大学院の修学資金等の貸付が可能となった。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子父子家庭の母父又はその扶養している児童及び寡婦の
目的(何のために)	経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、その扶養している児童の福祉の増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	修学資金等について貸し付けることで
成果(どのような状態にするのか)	自立生活を目指すことができる

【コスト】（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	47,675	39,548	85,367	78,140	78,140	78,140	78,140
事業費	41,105	30,926	76,979	69,752	69,752	69,752	69,752
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	41,105	30,926	76,979	69,752	69,752	69,752	69,752
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	6,570	8,622	8,388	8,388	8,388	8,388	8,388
事務・技術（人）	0.35	0.49	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0133
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
事務事業番号　00035　母子父子寡婦福祉資金貸付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
32-05-05-10-20-00-01-00	母子父子寡婦福祉資金貸付金	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)口座振替件数	件	5,100.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		4,920.00	4,957.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)修学資金の新貸付件数	件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		16.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額	千円	60,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
		41,105.00	30,926.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)元利償還金収納率	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		62.85	58.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	教育の保障や生活の安定のための手段となっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	資金が確保できることにより、自立や意欲向上に結び付いている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	貸付がひとり親家庭の負担とならないよう事前相談を行っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	将来的な経済自立、生活意欲の向上につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	ひとり親家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、引き続き適正な貸付を行う。事前相談の中で、家庭が抱える課題を見つけ、家計の見直しや健全なライフプランへの認識なども含め、将来の自立した生活へとつながる支援に努める。償還が滞っている家庭については、現状を確認しながら償還金の徴収に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	ひとり親家庭が、経済的に自立し生活意欲を高められるよう、適切な貸し付けを行うとともに、未納の償還金についても手法を探りながら、確実に徴収できるよう努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00035　母子父子寡婦福祉資金貸付事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)口座振替件数	件	5,100.00 4,920.00	5,000.00 4,957.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00
	指標説明	償還金の口座振替件数						
(成果)修学資金の新貸付件数	件	20.00 16.00	20.00 18.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	進学希望者への貸付件数　令和２年度より学費減免制度開始						
(活動)母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額	千円	60,000.00 41,105.00	50,000.00 30,926.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00
	指標説明	母子父子寡婦福祉資金貸付金は２１年度より実施						
(成果)元利償還金収納率	%	70.00 62.85	70.00 58.36	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	元利償還金の収納率（現年・過年度）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0134
評価年度 令和 6年度　進捗区分 評価完了　所属長名 鎌田　幸城
所属 1430 こども未来部児童クラブ課　記入者 金田一　正太
事務事業番号 00041 放課後児童健全育成事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします
施策	001　子ども・子育て支援の充実
取組の方向性	003　児童クラブの量の確保と質の向上
事務事業	001　放課後児童健全育成事業
運営方法	直営
評価区分	対象　主な取組区分　対象
根拠法令等	児童福祉法、大津市立児童クラブ条例
事業概要	（事業概要） 保護者の就労等、放課後、家庭で保育を受けることが困難な児童の健全な育成を図るため、大津市立児童クラブ（３７か所。以下「公立児童クラブ」）を開設、運営している。
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市全体の児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇等により保護者の児童クラブの利用ニーズは増加している。また、宅地開発等の影響により、児童数の増加が著しい公立児童クラブもあるなど、施設の狭あい化の解消が課題となっている。 （見直しや改善等の経過） 施設の狭あい化の解消を目的に、民間事業者による児童クラブの開設、参入促進のための取組を行うほか、学校施設や公共施設を活用しながら児童の遊びと生活のスペースの確保に努めている。

【事業分析】

対象（何又は誰を）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、
目的（何のために）	児童の健全な育成を図るため、
手段（どのようなやり方で）	授業の終了後等に公立児童クラブにおいて適切な遊び及び生活の場を与え、
成果（どのような状態にするのか）	児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	205,666	215,585	264,177	255,514	255,514	255,514	255,514
事業費	176,162	181,425	230,143	221,480	221,480	221,480	221,480
国庫支出金	24,213	28,903	52,853	24,873	24,873	24,873	24,873
県支出金	23,125	28,903	41,961	23,755	23,755	23,755	23,755
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	90,804	95,825	93,779	93,275	93,275	93,275	93,275
一般財源	38,020	27,794	41,550	79,577	79,577	79,577	79,577
人件費計	29,504	34,160	34,034	34,034	34,034	34,034	34,034
事務・技術（人）	2.40	2.40	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.37	3.86	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0134
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
事務事業番号　00041　放課後児童健全育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-40-69-00-01-00	放課後児童健全育成事業費	福祉部子ども未来局児童クラブ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)公立の入所児童数　※目標を下回ること	人	3,208.00 3,216.00	3,208.00 3,468.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00
(成果)公立の受入可能人数に対する５月１日現在の入所率	率	100.00 100.25	100.00 108.10	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	放課後における子育て支援施策の重要な事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	遊びや生活を通して児童の健全な育成に寄与している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	国県の財源を活用し、必要に応じた施設修繕等を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保護者の就労と子育ての両面を支援しており施策に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	放課後児童健全育成事業の更なる充実を図るため、小学校の教室や市有施設の活用による施設の狭あい化解消と適切な維持管理により、保育環境の充実を図り、引き続き適切な児童クラブの運営に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	共働き世帯の増加等を背景として児童クラブの通所ニーズが高まっていることから、小学校の教室や市有施設の活用と適切な維持管理により保育環境の向上のための取組を推進する。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00041　放課後児童健全育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)公立の入所児童数　※目標を下回ること	人	3,208.00 3,216.00	3,208.00 3,468.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00	3,507.00 0.00
	指標説明	５月１日現在の入所児童数（実状に合わせ、令和３年度からは受入可能人数を目標値とし下回ることを指標とする）						
(成果)公立の受入可能人数に対する５月１日現在の入所率	率	100.00 100.25	100.00 108.10	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	令和３年度からの成果指標。狭あい化解消のため１００％を下回ることを指標とする。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0135
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属長名 鎌田 幸城
所属 1430 こども未来部児童クラブ課 記入者 金田一 正太
事務事業番号 02616 民間児童クラブ運営助成事業

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001 子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001 子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	003 児童クラブの量の確保と質の向上				
事務事業	004 民間児童クラブ運営助成事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	児童福祉法、大津市児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
事業概要	（事業概要） 公立児童クラブの通所登録児童数の増加に伴う施設の狭隘化の解消を目的として、民間児童クラブの参入を促進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 共働き世帯の増加等を背景として、地域によっては今後も児童クラブの通所ニーズが高まることも予想される。 （これまでの見直し） 平成２３年度から民間児童クラブを運営する社会福祉法人等に補助金を交付し、運営を支援している。また、公立児童クラブの狭あい化が著しい小学校区において、公募により児童クラブ開設に係る補助金を交付している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	社会福祉法人等の民間児童クラブを開設、運営する者に対して
目的（何のために）	公立児童クラブの狭隘化の解消を目的に
手段（どのようなやり方で）	児童クラブの開設、運営等に係る費用に対して補助金を交付し
成果（どのような状態にするのか）	市内の児童クラブの保育環境が充実し、児童の健全な育成と保護者の就労を支援する。

【コスト】 （単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	391,014	428,611	571,672	627,979	627,979	627,979	627,979
事業費	383,214	420,811	559,192	615,499	615,499	615,499	615,499
国庫支出金	119,613	123,643	169,254	198,663	198,663	198,663	198,663
県支出金	107,216	123,643	169,254	181,058	181,058	181,058	181,058
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	156,385	173,525	220,684	235,778	235,778	235,778	235,778
人件費計	7,800	7,800	12,480	12,480	12,480	12,480	12,480
事務・技術（人）	1.00	1.00	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 7年 9月18日

整理番号　0135
評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
事務事業番号　02616　民間児童クラブ運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-40-69-00-02-00	民間児童クラブ運営助成事業費	福祉部子ども未来局児童クラブ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)民間クラブ受入可能人数（施設の生活面積/1.65㎡）	人	1,923.00	1,956.00	2,182.00	2,182.00	2,182.00	2,182.00	2,182.00
		1,956.00	2,182.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
		23.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	公立の狭あい化解消に貢献しており、妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	施設数、利用児童数も増加している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	公立の施設整備費及び人件費に比してコスト減となっている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	公立の狭あい化解消と子育て環境の充実に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	通所ニーズの高い地域に補助金等を活用し、民間児童クラブの開設を促進するとともに、民間児童クラブの安定的な運営を支援していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	通所ニーズの高い地域において民間児童クラブの開設及び経営を支援することで、児童の利用を促進し市内全体の児童クラブの保育環境の充実に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度　令和 6年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02616　民間児童クラブ運営助成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)民間クラブ受入可能人数（施設の生活面積/1.65㎡）	人	1,923.00 1,956.00	1,956.00 2,182.00	2,182.00 0.00	2,182.00 0.00	2,182.00 0.00	2,182.00 0.00	2,182.00 0.00
	指標説明	施設の生活面積を１．６５㎡で除した数						
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	29.00 23.00	29.00 15.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00
	指標説明	５月１日現在の児童数で一人当たりの基準面積を算定						

IP27P050